

秋田県立十和田高等学校 中期ビジョン（5カ年計画）

平成31年4月

①学校の現状と課題

- ・団結力が強い
- ・人間関係の固定化
- ・視野の拡大

地元出身生徒が
多数を占める

- ・将来の地域のリーダーの育成
- ・伝統行事の継承

地域行事への
積極的な参加

- ・国公立大学進学
- ・高い地元就職率
- ・大学進学希望者の減少

多様な進路

- ・スキー部やボランティア部、野球部が活躍
- ・部員数減少
- ・部活動の統廃合検討

部活動の活躍

②学校を取り巻く将来の状況の予測

- ・入学者減少
- ・教育課程の見直し
- ・統合等再編整備の検討

中学卒業生減少

- ・人口減により、地域行事やボランティア活動において、高校生に期待されるものが大きくなる。

地域人口減少

- ・地元志向の強さ
- ・補習、模試計画
- ・進路ガイダンスの充実

多岐にわたる
進路希望

十和田高校校訓

純 剛 忍

③目指す方向性や
学校像

すべての教育活動を通して
生徒が大きく成長できる学校

④5カ年で達成を目指す具体的な目標

教育活動の充実

- ・学校評価の生徒指導の評価4以上
- ・ふるさと教育かづの学に取り組む
- ・3年間で3回以上ボランティア!

特別活動の充実

- ・運動部全県大会ベスト8以上
- ・文化部は全県大会入賞以上
- ・学校行事への来校者500名以上

進路指導の充実

- ・進路志望達成率100%
- ・国公立大学合格者の輩出
- ・英検漢検3級以上合格率80%以上

⑤具体的な取り組み等

「十高だより」や「十高トピックス」などをホームページに掲載し、学校に関する情報発信に努めます。

毛馬内盆踊りなどの伝統行事や地域でのボランティア活動に積極的に参加し、社会参画意識を育みます。

中学校や地域の諸団体と連携を取りながら部活動を活性化し、各大会やコンクール等での上位入賞を目指します。

ふるさと教育かづの学を実施し、鹿角の文化や産業をテーマにした研究活動に取り組みます。

地域との連携
において実施すること

特別活動
として取り組むこと

学校行事を生徒主体で行うなど、活発な生徒会活動を実践します。

2年生全員が地元各事業所でのインターンシップを行い、働くことの意義や職業について理解を深めます。

キャリア教育
として実践すること

学習活動
として充実させること

学力検査や学力・学習状況調査の結果を分析し、学び直しに積極的に取り組み、基礎学力の定着に努めます。

キャリアカウンセリングを実施し、各自が作成したキャリアプランについて相談しながら、よりよい生き方を模索します。

高大連携高校生サマーキャンプに参加し、進学して学ぶ意義を理解し、将来設計能力を育成します。

授業アンケートや校内研修を実施し、「分かる授業」「よく考える授業」を目指し、組織的な授業改善を進めます。

進路目標実現のため、各種検定の受検促進や課外授業の充実を図るなどして、入試等に対応し得る学力を育成します。